

取扱説明書 | パターンプレートの挿入方法

■ガラスプレートの場合

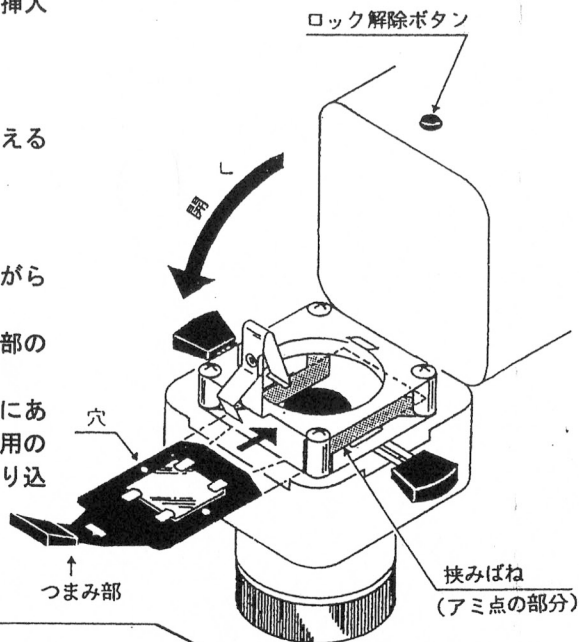
プレートホルダのつまみ部近くに貼ってある「光源側」シールを光源側にして挿入します。

■ステンレスプレートの場合

光源側から見てパターンが正しく見える（読める）様にして挿入します。

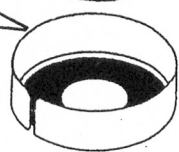
●挿入の方法

- ① 灯体のロック解除ボタンを押しながら器具を開けます。
- ② パターンプレートを図の様に光学部の挟みばねの内側に挿入します。
【注意】パターンプレートの左右にある穴は、プレートのストップ位置用の穴です。穴が光学部の突起にはまり込むまで押し込んで下さい。（その位置が正常な位置です）
- ③ 灯体を閉じます。



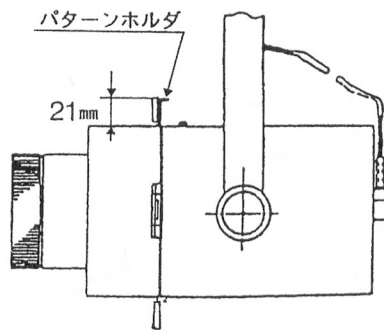
◆絞り板セット

パターンの像をより鮮明に投影する時、絞り板セットをレンズ前にはめ込んで下さい。又、φ60に切ったカラーフィルタを絞り板と同時にめ込みますと色での投光ができます。



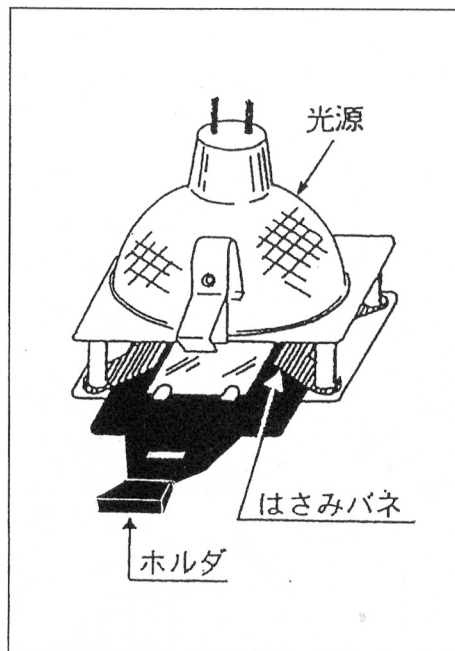
◎パターンプレートが正常な位置まで入っているか？ 確認する方法

- A: 灯体を開けランプを外し、プレートが挟みばねの中心に収まっているか？を見る。
- B: ホルダの出が図の様に灯体より21mm出ている。それ以上、又はそれ以下だとパターンが光りの中心からずれています。



■ホルダを入れる時のポイント 1 2 3 4

- 1 パターンプレートホルダの「光源側」シールを光源側にして挿入します。



- 2 ガラスパターンのホルダがきつくて入りにくい場合挟みばねを⊖ドライバーで少しコジ広げて下さい。

- 3 ●両側の挟みばねの下に正しく挿入して下さい。
●ホルダ左右の穴がストップ位置の突起にはまります。

4

ホルダを入れる時は4枚のフレーミングカッターは全開にして下さい。
★特にホルダを差し入れる時、上のカッターはジャマになりますので前方に折っておくと挿入するとき楽です。

